

1. 館長挨拶

芝浦工業大学図書館

館長 田中 直彦

本学では、2022年6月に新型コロナウイルス感染症に係る制限が撤廃され、多くの科目が対面授業を再開しました。その一方で、ハイフレックス授業の継続により、感染症が再拡大した際でも、柔軟に授業が実施できる環境を提供しています。また、2022年度は芝浦キャンパスの移転および、豊洲本部棟のオープンが行われたことで、学習と研究の環境が、より拡充された年であるといえます。

図書館では、Centennial SIT Action への貢献として、2022年度、以下の活動をして参りました。

- 実施目標 : 2館体制での図書館機能及び資料構成の定義と構築
- 計画概要 : 芝浦キャンパスの豊洲移転に対応し、資料及び設備面を充実させた新たな学術情報拠点とすると共に、ポストコロナを見通した図書館運営を確立させる。
- 達成最終目標 : ・新豊洲図書館の資料を、課程制への移行や大学院の充実・デザイン工学部移転に対応した構成とする。
・産学連携コーナーの新設、就職活動支援、女子学生・留学生の利便性向上など、新たな機能を備えた図書館を構築する。
・図書館ホームページによる広報活動の強化などサービスの再整理を進める。

2022年度は、2館体制への変更に伴い、豊洲図書館の機能や資料構成について大きな変更が求められました。そのため、豊洲図書館の拡張に向けた準備を進め、芝浦図書館の全資料については豊洲図書館への移管を実現しました。また、利用者の声を反映させるため、個人ブースの増設や、飲食可能なリブカフェの新設など、大学の動きに合わせた取り組みを継続しています。

電子ブックや電子ジャーナル、データベースの活用も継続して進めています。2020年度から実施された学生の必携ノート PC により、図書館内でもオンライン資料を利用する需要は増えています。しかし、大宮図書館の一部のエリアでは無線 LAN の接続性が悪い場所がありました。そこで、情報システム部と連携して館内の無線 LAN インフラを改善し、利用者の利便性を向上させています。

電子資料によって、図書館の外でも一部の図書館機能を利用できますが、図書館内ではそれに加えて多くの冊子も閲覧でき、利用目的に合わせたブースを選択できる環境を提供するため、改善を進めています。より良い図書館運営を行うため、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。